

マレーシア研修員 9 名 三重県鳥羽市の保育所で日本の給食運営を学ぶ

独立行政法人国際協力機構（JICA）中部センターは、マレーシアで給食に従事する行政官を研修員として日本に招き、日本の給食に関する知識や技術に関する研修を実施しています。

安全で栄養バランスのある美味しい給食の普及をマレーシアで図るべく、現在、マレーシアでは保健省を中心に、給食ガイドラインの作成に取り掛かっております。ガイドライン作成にあたり、長年、学校給食の歴史と経験をもつ日本の給食運営管理のノウハウを参考にすべく、中部地域で実施されている給食の取り組みを視察訪問します。

鳥羽市では、保育所でどのように給食が調理・管理され、子どもに提供されるか、また、子どもの食物アレルギー対応や食育活動など、実際に見て学びます。

本視察の取材のご希望がございましたら、**9月8日（金）17時迄**に JICA 中部へご連絡ください。

鳥羽市の保育所における給食運営の視察

日付	時間	内容	場所
9月11日（月）	9:50~11:30	保育所の給食運営の説明、調理室見学、児童の喫食の見学、等	安楽島保育所
9月12日（火）	9:50~11:30		答志保育所（答志島）

*取材の方は、調理室への入室はご遠慮いただきます。窓から調理室の様子を見ていただく形となりますこと、ご了承くださいませ。



【研修情報】

研修名： 国別研修マレーシア「LEP2.0給食ガイドライン開発」
研修期間：2023年9月3日（末日）～9月16日（帰国）
研修員数：9名（主な所属先：保健省、教育省、州保健局、等）
研修目標：講義や視察を通して日本の給食運営管理を理解し、マレーシアの給食ガイドラインを作成する。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA中部 研修業務課 担当：齊藤
TEL:052-533-0220 Email: Saito.Mihoko@jica.go.jp